

令和4年度第32回岩手県バレーボールシニア選手権大会 連絡事項

- 1 開催期日 令和4年11月6日（日）
- 2 会 場 盛岡市渋民運動公園総合体育館 盛岡市川崎字川崎1-1 電話：019-683-1636
- 3 開会式 **新型**コロナウィルス感染症予防対策として、実施しません。
- 4 受付 11月6日（日）、会場の本部席において8時30分から受付を行います。
受付が完了しないチームは棄権となるので注意してください。
- 5 競技方法 トーナメント法による。3位決定戦は行いません。
ネットの高さ 男子2.38m
2022年度（公財）日本バレーボール協会9人制競技規則により行います。
ただし、コートチェンジは行いません。
- 6 表彰 1位から3位（2チーム）までをコート表彰します。
- 7 連絡事項

（1）開館からのタイムテーブルは下記の通りとします。

	会 場	開 館	代表者会議	第一試合開始
11月6日（日）	渋民運動公園総合体育館	8：00	8：45	9：30

体育館利用時間は18：00までとなります。

- （2）各試合間は消毒作業の時間を考慮して15分程度を見込みます。また、連続となるチームがある場合は20分程度空けることとします。
- （3）今大会は原則随同行審判員制で行います。また、各チームにコートアシスタント（LJ・点示）の協力をお願いします。主審・副審・記録を2チームで担当することから、チームに2名の随同行審判をお願いすることがあります。
- （4）最終エントリーについて
所定の用紙に必要事項を記入の上、本部席へ提出してください。
- （5）18名の申込者の中から試合ごとに15名を選抜した構成メンバー表を、第1試合のチームは
代表者会議終了後速やかに、第2試合以降のチームは前の試合の第1セット終了前までに本部へ提出してください。
- （6）喫煙・飲食は、各会場の指定された場所のみで行ってください。ごみ等はチームで責任を持ってお持ち帰りください。

8 感染症防止対策について

今大会は、入場への規制（人数等）は特に行いません。ただし、新型コロナウイルス感染症予防対策として、下記の項目を遵守していただきます。熟読のうえ、協力をお願いします。

- (1) 入館の際はチームごとにまとまって入場してください。その際、健康観察チェックシートの提出をお願いします。チェックシートを提出しなければ入館できません。また、入館の際に、必要に応じて検温を行うこともあります。
チーム応援の入館者については、可能な限り事前に健康観察チェックシートに必要事項を記入の上、入館時に提出していただきます。
他の入館者については、入場口付近で健康観察チェックシートへの記入をお願いします。
- (2) 館内は原則として常時マスクを着用してください。また、手洗い、手指消毒などの基本的な感染症対策をこまめに行ってください。
試合中も、コートでプレーしている選手以外は常時マスクを着用し、待機時やベンチでは極力他者との距離を空けるようにしてください。
また、ベンチ・アップゾーン・ギャラリーとも声を出しての応援はできません。
- (3) 試合前後の選手同士及びチームキャプテンからの審判員への握手は行わないこととします。
- (4) コートチェンジは行わないこととします。
- (5) ボール等の競技用具の消毒は、試合終了ごとに競技委員が行います。ベンチについては、チームに消毒作業の協力をお願いします。試合終了時の消毒作業に協力ください。
- (6) チームの飲み物の空き容器等は、館内には置かずチームの責任として必ず持ち帰ってください。また、アイシング等で使用した氷をトイレや洗面台に投棄しないでください。
- (7) チーム責任者は、参加する選手・スタッフの健康状態(検温・体調)を把握し、体調管理を徹底させてください。
- (8) 大会前日(会場入り前)までに新型コロナウイルス感染の陽性者や濃厚接触者等が確認された場合、今大会への参加は認めません。
- (9) 大会当日、体調不良や発熱が疑われる場合は、該当者と他選手・スタッフを接触させないよう隔離し、該当者を速やかに医療機関に受診させてください。該当者がPCR検査を受診することになった場合は、そのチームは参加を取りやめ、自宅待機をし、保健所の指示を待ってください。
大会当日に濃厚接触者等が確認された場合も同様の扱いとします。
- (10) 車での同乗者は濃厚接触者として扱われます。その中であっても感染を可能な限り減らすため、車内でのマスク着用、定期的な換気等に努めてください。

大会に関する問い合わせ先

責任者 佐藤 泰広

〒020-0106 盛岡市東松園 3-16-40

携帯：070 - 4087 - 5094 (17 時以降をお願いします)

FAX：050 - 4462 - 0109

審判上の確認事項

- 1 本大会は、2022年度公益財団法人日本バレーボール協会9人制競技規則を適用する。
また、岩手県公認審判員以上の資格を有する随伴審判員制とする。
- 2 ベンチスタッフ・選手は競技規則に精通し、これを遵守すること。
- 3 本大会は、3セットマッチの1ボール・システムとする。
- 4 公式ウォームアップは、両チーム併せて6分間、またはどちらかのキャプテンが相手チームとは別に（連続して）公式ウォームアップを要求した場合は、各3分間行うことができる。
- 5 公式ウォームアップ開始前に監督は、記録用紙の選手リストを確認しサインする。また、チームキャプテンは試合開始前と試合終了後にサインする。
- 6 監督はチームベンチの最も記録席に近い席に座るか、試合を妨げたり遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。ただし、試合を妨害したり、線審の判定の妨げになるような場所に立ち止まることや、判定に影響を及ぼすような行為は禁止される。
- 7 サービスオーダー票は、監督またはチームキャプテンが公式ウォームアップが終了するまでに副審または記録員に提出する。
- 8 タイムアウトの要求は、監督がハンドシグナルを示して要求すること。監督が不在の場合はゲームキャプテンだけがハンドシグナルを示して要求すること。
- 9 タイムアウト終了のホイッスル後、すぐにコートに戻らない場合や、サービス許可のホイッスルを遅らせる行為など、試合の進行を遅らせる行為は、遅延の制裁の対象となる。
- 10 選手交代の要求とは、コートに入る準備の出来た交代選手が、選手交代ゾーンに入ることをいう。この場合、監督またはゲームキャプテンはハンドシグナルを示す必要は無い。ただし、コート内の選手の負傷や病気による選手交代の場合は、監督（不在の場合はゲームキャプテン）がハンドシグナルを示して要求する。
- 11 チームが複数の選手を交代させたいときは、複数の交代選手が同時（時間を空けず）に選手交代ゾーンに入らなければならない。この場合、交代は1組ずつ連続して行われる。
- 12 チームの素晴らしいプレーに対して、ベンチの構成員が立ち上がってその喜びを表すような態度は罰則の対象とならない。しかし、競技役員、相手チーム、チームメイト、さらに観衆等に対する不法な行為は罰則の対象となる。
- 13 セット間は、他の試合の妨げとならない限り、自チーム側（エンドライン後方のフリーゾーン及びサイドライン横のフリーゾーン）で、ボールを使用してウォームアップすることが出来る。
- 14 試合中コートが濡れた場合は、コート内の選手がタオル等を用いて、ラリー終了後速やかに拭くこと。モップの使用は、タイムアウト中、セット間、及び審判が指示した時とする。

- 15 試合の前は、選手がエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。試合終了後は、コート上の選手9名がエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。尚、監督、チームキャプテンは、主審、副審にも挨拶する。コロナ感染症対策として、握手は行わない。